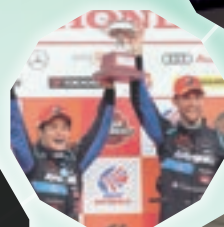


第114期 中間レポート

平成30年4月1日～平成30年9月30日



スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

証券コード: 6923

★

スタンレースピリット

光に勝つ

私たちは、「光に勝つ」の気概を持ち、素晴らしい未来を切り拓きます。

経営理念

光の価値の限りなき追求

光の無限の可能性を究め、その価値の提供によってひろく社会に貢献します。

ものづくりを究める経営革新

“ものづくり”を事業の基盤とし、高付加価値・高品質を生むしくみを実現します。

真に支える人々の幸福の実現

スタンレーを真に支えてくれる人々を大切にし、その幸福の実現に努めます。

光の5つの価値

光による5つの価値の探究によって、社会的価値を創造します。

CREATING 光を創る

RECOGNIZING 光で感知・認識する

INFORMING 光で情報を自在に伝える

ENERGIZING 光のエネルギーを活かす

EXPRESSING 光で場を演出する

行動指針

CHALLENGE 挑 戦

常に高い理想を求め、果敢に挑戦している。

INNOVATE 発 想

自由な発想と高い見識で、価値を創りだしている。

COLLABORATE 共 創

知恵を共有し活用することで、価値を高めている。

HUMANIZE 慈 愛

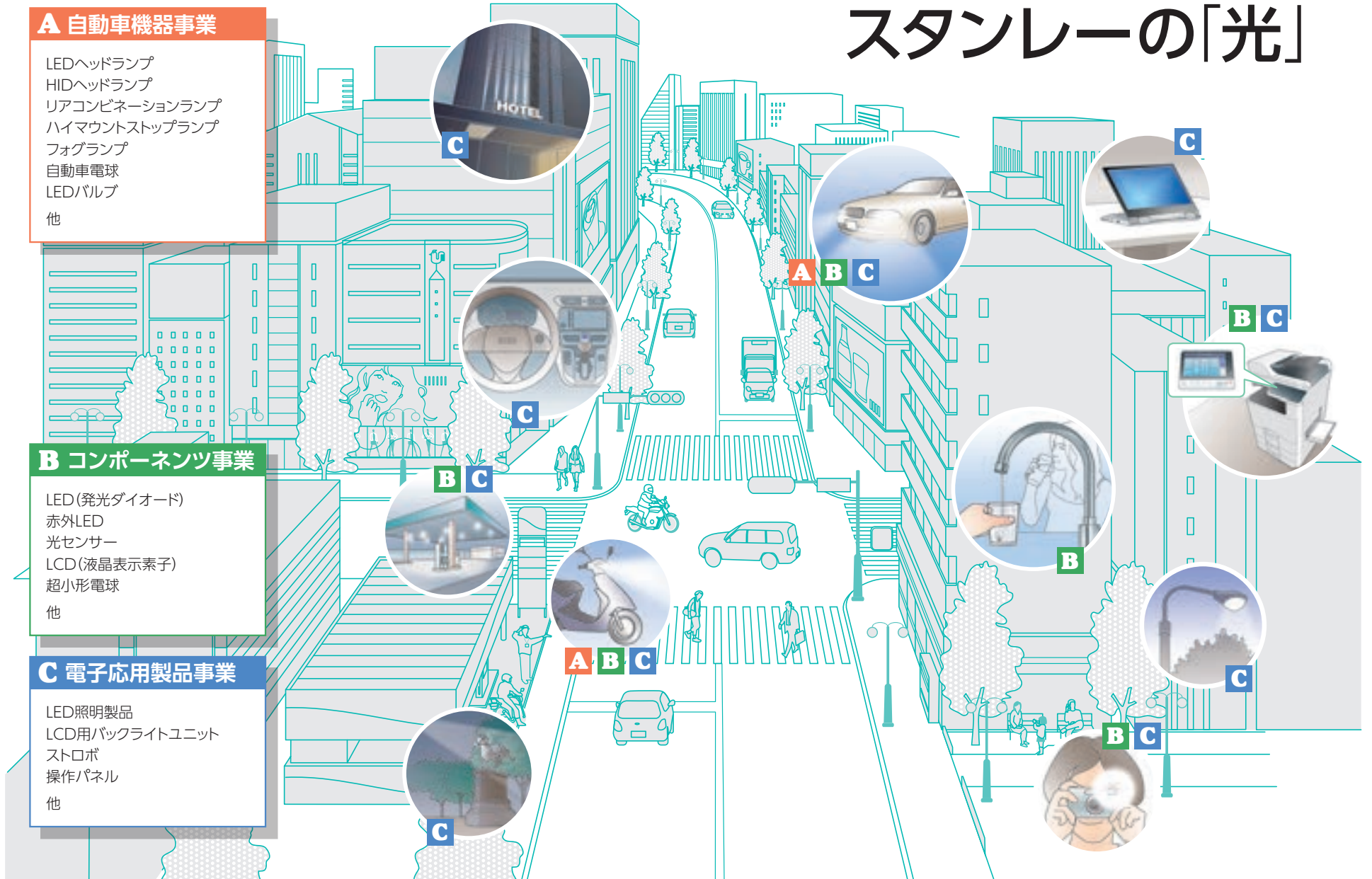
自然と人間を慈しみ、豊かな感性を育んでいる。

GLOBALIZE 国 際

世界の多様な文化を尊重し、その理解に努めている。

私たちは、このビジョンのもとで、「光の価値」と「ものづくり」を徹底的に究め、
真に必要なとされる価値を創造することで、広く社会に貢献します。

生活の中で輝く
スタンレーの「光」





代表取締役社長 北野隆典

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成30年9月30日をもちまして第114期の第2四半期決算を行いましたので、ここにご報告を申し上げます。

全般的な営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が続きました。

世界経済は、米国では景気が堅調に推移し、欧州では緩やかに回復、アジアでは総じて安定した成長が続き、中国では持ち直しの動きが続きました。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）では、グローバルでの市場ニーズを的確に捉えた製品開発、及び受注拡大を目指した営業力強化や生産能力の増強、そして生産工程や間接部門の徹底的なムダ取りといった生産革新活動による生産性向上等を着実に実行しております。相次ぐ自然災害や米国を取り巻く貿易摩擦、原油高等による影響はあったものの、総じて堅調に推移いたしました。

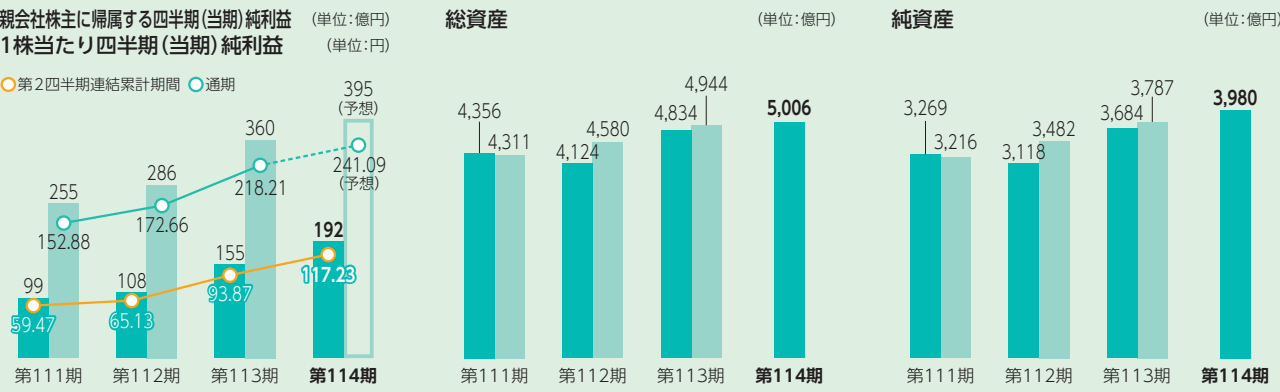
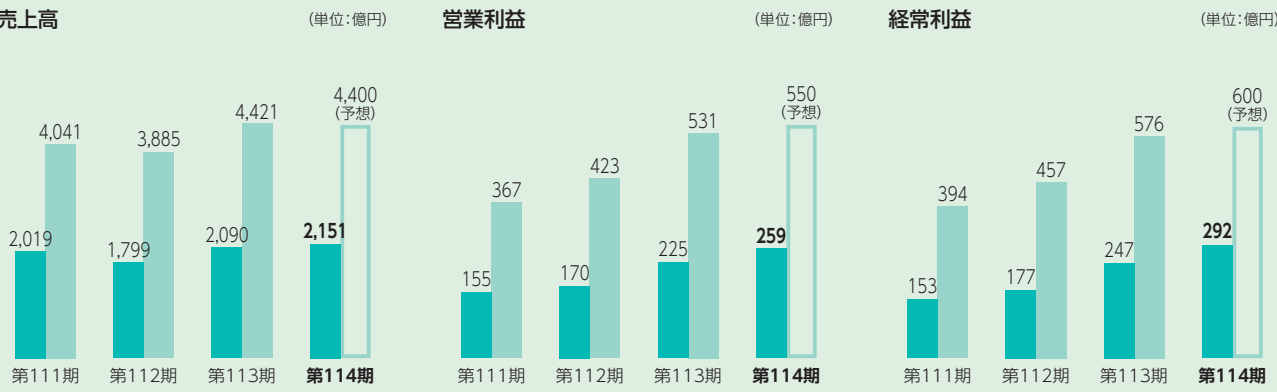
その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は2,151億6百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は259億8千5百万円(前年同期比15.0%増)、経常利益は292億1千1百万円(前年同期比17.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は192億4千6百万円(前年同期比24.0%増)と増収増益になりました。

連結財政状態について

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,006億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ61億6千8百万円増加しております。主な要因は、固定資産が32億1千万円及び流動資産が29億5千8百万円増加したことによるものです。固定資産の増加は、有形固定資産が増加したこと及び投資有価証券が増加したこと等によるものです。流動資産の増加は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したこと及びたな卸資産が増加したこと等によるものです。

負債は1,026億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ131億5千7百万円減少しております。主な要因は、日本における下請代金支払遅延等防止法に関する

連結財務ハイライト



る運用基準の改正に伴う対応により、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

純資産は3,980億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ193億2千6百万円増加しております。主な要因は、株主資本が158億7百万円増加したこと及びその他の包括利益累計額が27億7千7百万円増加したこと等によるものです。株主資本の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。また、その他の包括利益累計額の増加は、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

連結業績予想と配当の状況について

当社の配当金につきましては、安定した配当の維持

及び適正な利益還元を基本としており、連結配当性向20%以上、自己株の取得を含めた総還元性向は、連結で35%以上を目標としております。

当第2四半期末の配当金につきましては、第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が業績予想を上回っていることから、上記の目標に基づき、1株当たりの配当金を直近の予想から1円増額し25円といたします。

また、期末配当予想につきましても、24円から1円増額し25円とし第2四半期末の配当金と合わせた年間配当金を1株当たり50円とさせて頂く予定であります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	百万円	%
売上高	440,000	△0.5
営業利益	55,000	3.4
経常利益	60,000	4.1
親会社株主に帰属する当期純利益	39,500	9.7
1株当たり当期純利益	円 銭 241.09	—

※%表示は、対前期増減率。
※当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

NEWS & TOPICS

富士ゼロックス様のプレミアムパートナーに8年連続認定、「BRONZE賞」受賞

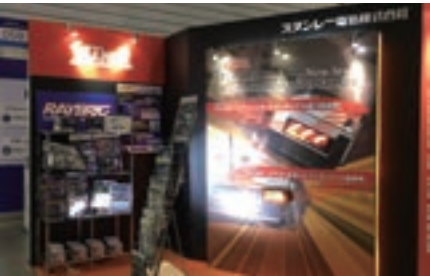
スタンレーは8年連続、富士ゼロックス様のプレミアムパートナーとして認定を受け、このたびその中でも優秀取引先として「BRONZE賞」を受賞しました。
当社が海外拠点とともに生販技一体となり取り組んだ結果、品質・コスト・生産管理・グリーン調達・CSR等を評価いただいたことによるものです。今後もお客様への貢献に取り組んでいきます。



当社製品が採用された複合機パネル



トロフィー



フルLEDリアコンビネーションランプが目を引いた当社ブース

ジャパントラックショー2018に出展

5月10～12日、トラックをはじめ物流・輸送に関連する製品のビジネスショー「ジャパントラックショー2018」にスタンレーが初出展しました。
運送会社や架装メーカー、カーメーカーへの認知拡大を図ることを狙いとし、ハロゲン代替LEDヘッドランプバルブやリアコンビネーションランプ（参考出品）、LEDワークランプ等を展示。期間中は多くのお客様にご来場いただき、注目を集めました。

ベトナムスタンレーがホンダベトナム様から「Supplier of The Year 2017」を受賞

スタンレーグループのベトナム拠点Vietnam Stanley Electric Co., Ltd.(以下、ベトナムスタンレー)がホンダベトナム様のサプライヤーミーティングで177社からトップ1社に選ばれ、「Supplier of The Year 2017」を受賞、5月14日に受賞式が開催されました。
これは、ベトナムスタンレーの生産活動の品質、コスト、納期、高付加価値など納入実績が高く評価されたもので、ベトナムスタンレー創設21年目にして初めての栄冠です。スタンレーはこれからもグループ丸となってお客様に喜ばれるものづくりを進めてまいります。



受賞式に出席したベトナムスタンレーの皆さん

Aquatech China 2018に出展

スタンレーは、水処理システム、家庭・商業用浄水器、水殺菌リアクター、水処理関連部材の企業が集まる「Aquatech China 2018」(5月31日～6月2日、上海)に出展しました。水殺菌への関心度が高い中国で、当社は紫外LEDのリアクターや消臭デモ、発光効率を高めたUV-CCL、UV-CCL搭載の殺菌機能を持つ蛇口、小型純水装置を展示。それぞれの強みをPRし、当社ブースへ280名のお客様にご来場いただきました。



紫外LEDを使った消臭デモ機



当社ブース

No.100 RAYBRIG NSX-GT スーパーGT 2018年シリーズチャンピオンに輝く!!

スタンレーが自動車用品ブランド「RAYBRIG」を通じてスポンサードするチームクニミツが、11月11日にツインリンクもてぎ(栃木県)で開催されたスーパーGTシーズン最終戦の第8戦で3位に入り、ドライバーズチャンピオンとチームチャンピオンに輝きました。

高橋国光総監督のもと、在籍7年目の山本尚貴選手に加え元F1チャンピオン、ジェンソン・バトン選手を迎えて臨んだ今シーズンは、第1戦岡山で2位と好スタートを切り、第3戦鈴鹿でも2位、第6戦SUGOで今季初勝利を飾り、7戦中6戦でポイントを獲得する安定した走りを披露しました。

最終戦もてぎの決勝では、同ポイントで並びKeePer TOM'S LC500と最後までテール・トゥ・ノーズの熱戦を繰り広げましたが、熟練のバトン選手のラストスパートにより見事タイトル獲得となりました。また、山本選手はスーパーフォーミュラーと合わせて同一年2冠の偉業を達成しました。



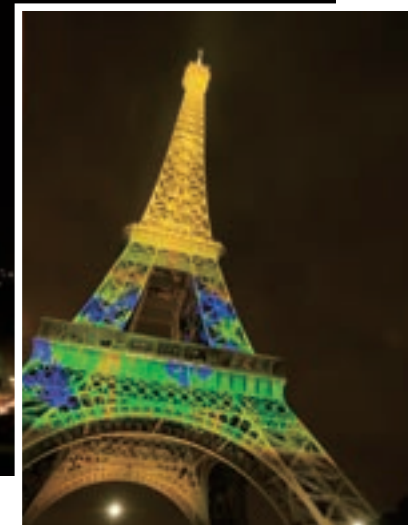
「平成30年7月豪雨」の被害に対する義援金について

このたびの「平成30年7月豪雨」により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。スタンレーは、被災された皆さまの支援、及び被災地の復興に役立てていただくため、広島県東広島市と岡山県倉敷市に対し、合わせて1,000万円を寄付いたしました。被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

世界初の金色光のLED投光器が エッフェル塔を特別ライトアップ

日仏友好160年を記念した「ジャポニスム2018」(事務局・国際交流基金)のハイライト公式企画として、世界的照明デザイナー石井幹子氏と石井リーサ明理氏がプロデュースされたエッフェル塔の特別ライトアップにスタンレーは協賛しました。9月13日～14日の2夜、「エッフェル塔 日本の光を纏う」として当社のLED投光器がエッフェル塔を金色に染め、世界の皆さんに日本の伝統美を堪能いただきました。

開発協力/株式会社石井幹子デザイン事務所
企画・プロデュース/石井幹子&石井リーサ明理



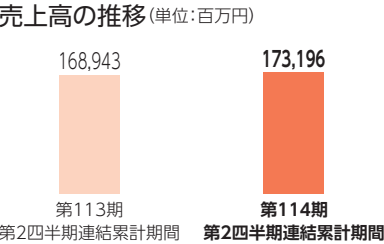
LED投光器を架台1基につき15台、計8基でエッフェル塔を金色に染めました。



金色LED投光器は、石井幹子デザイン事務所の開発協力のもと、当社が白色LEDで培ってきた蛍光体技術を駆使して実現した世界初の金色LEDを搭載、高度な光学設計と高品位な光学レンズで光の利用効率90%以上を達成しました。また、光学レンズと高効率・高出力LEDで低消費電力・低発熱、ヒートシンクのない薄型47mm、軽量4.3kgを実現しました。

自動車機器事業

売上高 1,731億9千6百万円



- 主な事業内容
- LEDヘッドランプ
 - HIDヘッドランプ
 - リアコンビネーションランプ
 - ハイマウントストップランプ
 - フォグランプ
 - 自動車電球
 - LEDバルブ 他



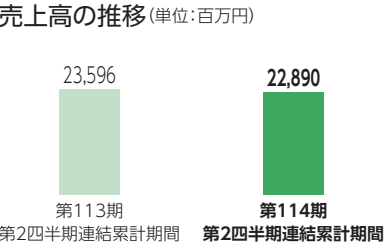
世界の自動車生産台数は、日本、米州、欧州、アジアで微増、中国で増加となり、全体として微増となりました。二輪車生産台数では、中国で減少、日本が横ばいとなったものの、インドを含むアジアで増加となり、全体として増加となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、当社が光源から一貫して製造しているLEDヘッドランプが増加したことで増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は1,731億9千6百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は152億8千万円(前年同期比12.4%増)となりました。

コンポーネンツ事業

売上高 228億9千万円



- 主な事業内容
- LED(発光ダイオード)
 - 赤外LED
 - 光センサー
 - LCD(液晶表示素子)
 - 超小形電球 他



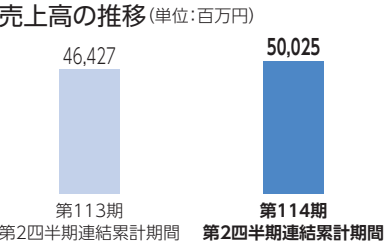
当セグメントが関連する車載市場、LED照明市場、AV市場は増加となったものの、情報通信市場、遊技市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業(LED、液晶等)は、主にLEDヘッドランプ等の社内向けLEDが増加しました。従来、社内向けのLEDについては、コンポーネンツ事業の利益としておりましたが、LEDヘッドランプの増加により社内取引価格を市場価格にあわせて見直したことによって、コンポーネンツ事業は、減収減益となりました。なお、全社の営業利益に変更はありません。

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は228億9千万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は37億3千2百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

電子応用製品事業

売上高 500億2千5百万円



- 主な事業内容
- LED照明製品
 - LCD用バックライトユニット
 - ストロボ
 - 操作パネル 他



当セグメントが関連するLED照明市場は増加、車載インテリア市場は微増、OA市場、AV市場のうちカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業(LED照明製品、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル、社内向け電子基板等)は、LED灯体の光源や制御等に用いる電子基板に加え、当社独自のノートPC用プライバシー機能付きバックライト等が好調に推移し、増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は500億2千5百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は59億3百万円(前年同期比80.0%増)となりました。

その他

売上高 16億4千1百万円

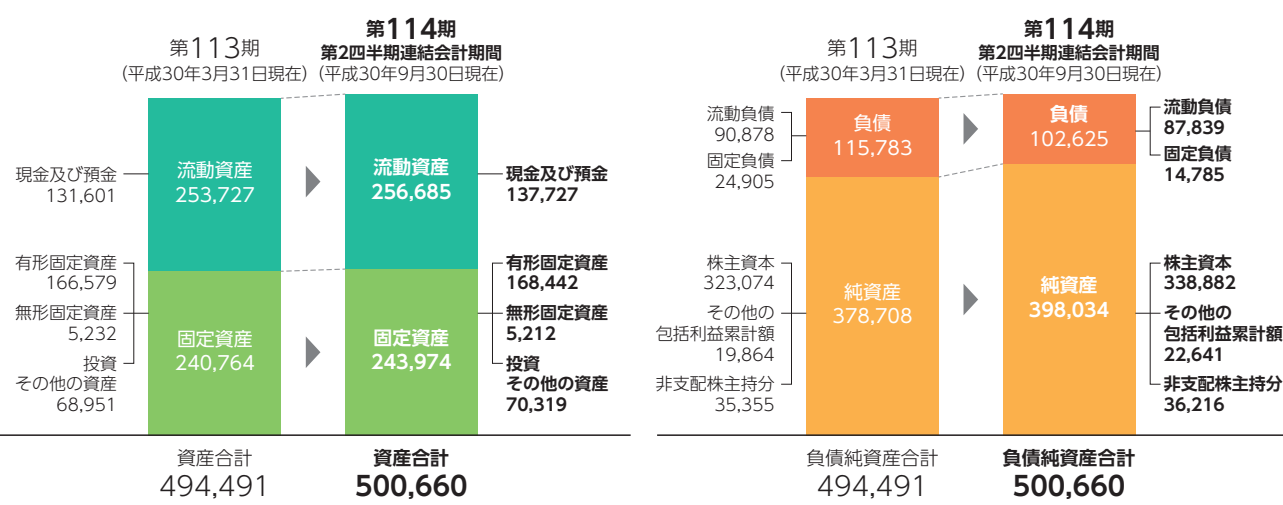
主な事業内容

- 身体障害者雇用促進事業
- グループに対する金融・経営サービス 他

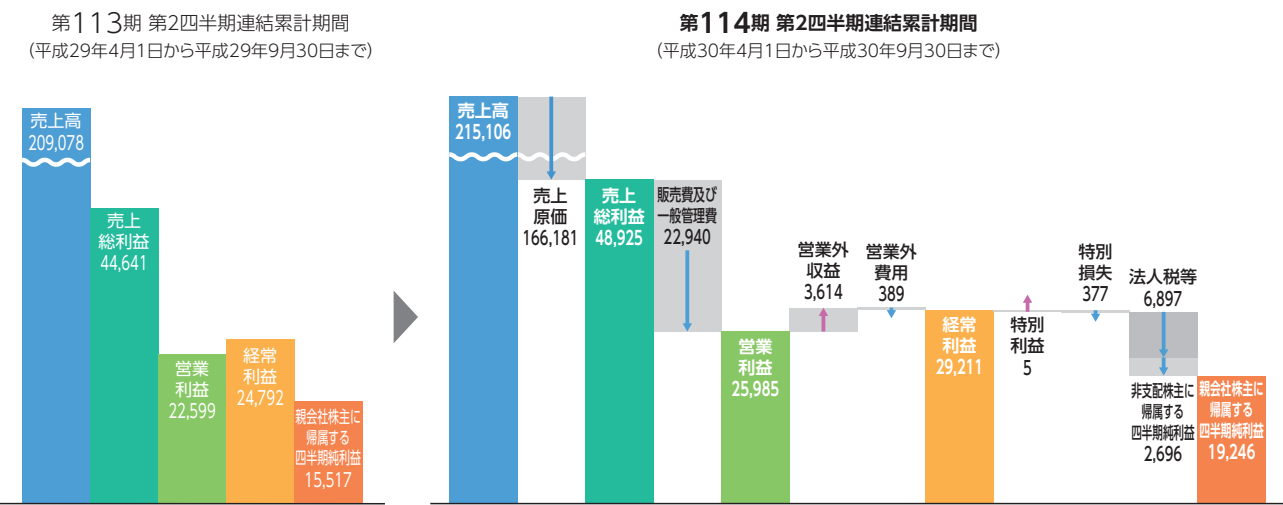
当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は16億4千1百万円、営業利益は5千万円となりました。

連結決算概要

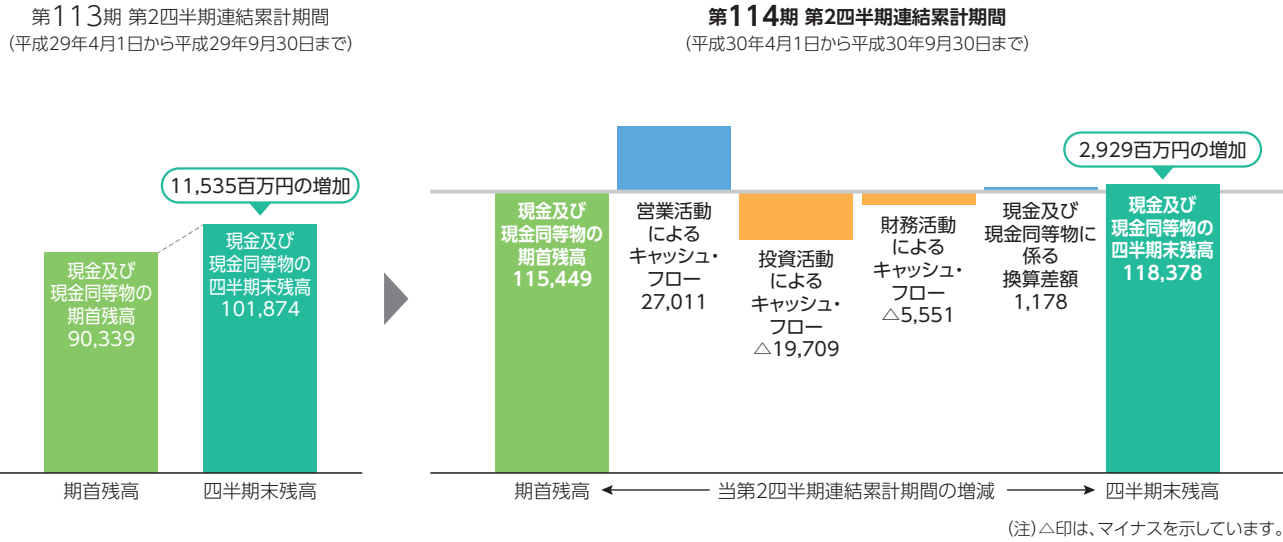
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



連結の範囲

連結子会社		国内(8社)	株式会社スタンレーいわき製作所 株式会社スタンレー鶴岡製作所 Stanley Electric U. S. Co., Inc. I I Stanley Co., Inc. Stanley Electric Holding of America, Inc. Stanley Electric do Brasil Ltda. Stanley Electric Manufacturing Mexico S.A. de C.V. 天津斯坦雷電気有限公司 天津斯坦雷電気科技有限公司 広州斯坦雷電気有限公司 斯坦雷電気(中国)投資有限公司	他
持分法適用会社		海外(3社)	Thai Stanley Electric Public Co., Ltd. Hella-Stanley Holding Pty Ltd Lumax Industries Ltd.	

会社・役員の概要 (平成30年9月30日現在)

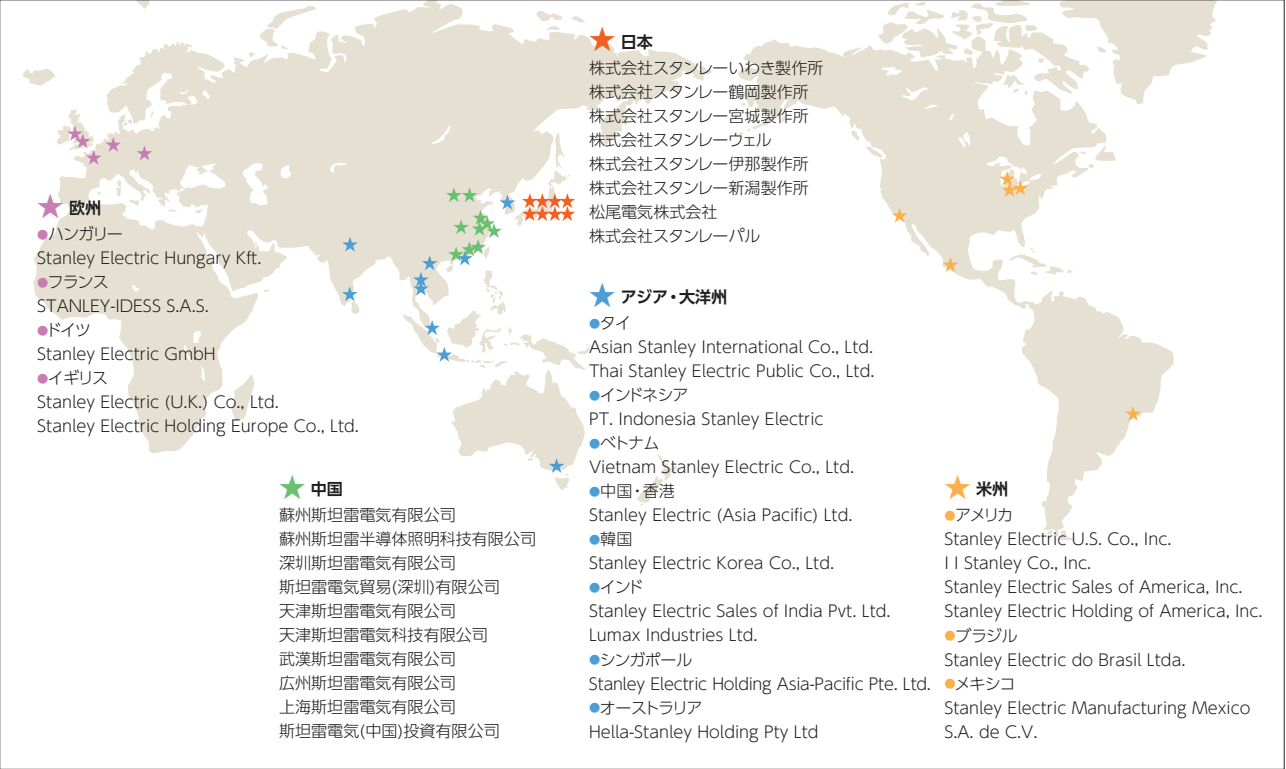
会社の概要

創業	大正9年12月29日(1920年)
設立	昭和8年 5月 5日(1933年)
資本金	30,514百万円
社員数	当社グループ 16,861人 当社 3,706人

事業所

本社	東京都目黒区中目黒2-9-13
研究所	技術研究所(横浜) 宇都宮技術センター 横浜技術センター オプトテクニカルセンター(横浜)
支店	大阪／名古屋
営業拠点	大宮／狭山／朝霞／鈴鹿
製作所工場等	秦野／岡崎／浜松／広島／山形

グループ会社



取締役・監査役

代表取締役社長	北野隆典
専務取締役	平塚豊
常務取締役	田辺徹
取締役	飯野勝利
取締役	高森啓之
取締役	米谷光弘
取締役	貝住泰昭
取締役	上田啓介
社外取締役	森正勝
社外取締役	河野宏和

常勤監査役	山口隆太
常勤監査役	下田浩二
社外監査役	山内悦嗣
社外監査役	網谷充弘
社外監査役	菅野寛

執行役員

松下義嗣	二輪事業部長、アジア・大洋州事業担当
安武正廣	光半導体事業部長
大木聡	四輪第三事業部長
太田智広	ストロボ事業部長
榎本浩幸	営業担当
鈴木重夫	AP事業部長
伊藤基善	ディスプレイデバイス事業部長
寒河江正浩	照明応用事業部長
和田直也	照明デバイス事業部長
小島新一郎	四輪第二事業部長
遠藤利恵	コーポレートバリューアナリスト
高野一樹	四輪第一事業部長
伊藤善仁	先進安全システム担当
留岡達明	インテグレートッドコンポーネンツ事業部長
北野隆章	SNAP担当

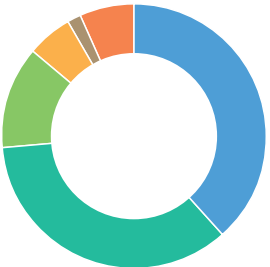
株式等の状況 (平成30年9月30日現在)

株式の総数及び株主数

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	175,600,000株
総株主数	8,875名

株式の所有者別割合

金融機関	38.43%
外国法人等	35.23%
その他の法人	12.58%
個人・その他	5.69%
金融商品取引業者	1.49%
政府・地方公共団体	0.11%
自己株式	6.47%



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,525	5.80
本田技研工業株式会社	9,235	5.62
株式会社三井住友銀行	8,111	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,012	4.27
日本生命保険相互会社	6,886	4.19
JP MORGAN CHASE BANK 385632	6,584	4.01
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	5,440	3.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,868	1.75
株式会社三菱UFJ銀行	2,677	1.63
公益財団法人北野生涯教育振興会	2,566	1.56

(注1) 当社は、平成30年9月30日現在自己株式を11,358千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
(注2) 持株比率は自己株式(11,358千株)を控除して計算しております。

中間配当 平成30年10月29日開催の取締役会において、第114期(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)中間配当金の支払について、下記のとおり決議いたしました。

(記)
当社定款の規定に基づき、平成30年9月30日を基準日として、次のとおり第114期中間配当金を支払う。
1. 中間配当金 1株につき金25円
2. 効力発生日及び支払開始日 平成30年11月29日(木曜日)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
	定時株主総会 3月31日
基準日	期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載のホームページアドレス http://www.stanley.co.jp/profile/index.html
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株

株式に関する手続き

- 株主さまの住所・氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座(※)に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先・郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 0120-232-711
(平日9:00～17:00・通話料無料)
お手持用紙請求 インターネットによるダウンロード
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- ※ 株券電子化前に証券保管振替機構に預託されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行に開設いたしました特別口座に記録されております。
- 未受領の配当金のお支払請求につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL: <http://www.stanley.co.jp/>